

# 家庭学習の手引き



## 《家庭学習のねらい》

- ①子どもに、基礎的な学力を確実に身に付けさせる。
- ②子どもに、家庭での学習習慣を身に付けさせる。
- ③子どもに、最後までていねいな字できちんと課題に取り組む態度を育てる。
- ④子どもに、進んで学習する力をつける。

## 1. 生活の中で見えない学力をつけよう

- 読書は、「見えない学力」を高めます。たくさん本を読みましょう。
- 国語辞典、漢和辞典、その他の辞典や図鑑類を身近に置いて調べましょう。
- 日本地図・世界地図を身近に置いて調べましょう。
- ニュース番組や新聞を見て、親子で話し合しましょう。
- 百人一首など詩歌の暗唱をしましょう。
- 都道府県の位置などを地図で調べてみましょう。
- 自然や生きものとふれあい、くわしく観察しましょう。
- 家の仕事をめんどくさがらないでしましょう。



## 2. 学校での指導として

- ①基本的な生活習慣(鉛筆の持ち方、忘れものをしない、返事、姿勢、人の話を聞く、忘れものをしないよう連絡帳をきちんと書く・見る)を身に付けさせるようにしています。
- ②習っていない漢字でも必要に応じて読みを意識付けるようにしています。
- ③できる限りノートにていねいに書かせるようにしています。
- ④定規やコンパスなど、上手に使えるよう指導しています。
- ⑤筆算には必ず定規を使わせています。
- ⑥百マス計算のような反復練習を大切にしています。
- ⑦文章問題は、式・筆算・答えの3つを必ず書くこととし、筆算は消さないように指導しています。
- ⑧家庭学習は、低学年20～30分、中学年30～50分、高学年50分以上をめやすとする。それに応じた宿題を出しています。



# 学力向上は家庭学習の習慣化から

## 5. 各学年で身に付けたい力 (基礎・基本の手引き)

### 3. 家庭での学習を習慣化しよう

#### ※家庭学習のめやす

- 低学年 20～30分
- 中学年 30～50分
- 高学年 50分以上

#### ※日常生活習慣が大切

- 早寝、早起き      ○朝食は必ずとる
- 朝の排便
- テレビは1日1時間(ゲームも時間を決めて)
- 自分で時間割や学習用具をそろえる

#### ※学習のポイント

- テレビを見ながらしない
- 決まった時間に決まった場所で
- 正しい姿勢で
- ていねいな字で最後まで書く



**継続は力なり!**

### 2. 家庭学習の参考例

#### 基本セット(各学年共通)

#### ※読み

国語の教科書の音読(音読カード)

#### ※書き

漢字ドリル、漢字プリント

#### ※計算

算数(計算)ドリル、教科書の問題  
(これ以外に出ることもあります。)

※宿題が終わったら、自分で見つけて学習しましょう。

例:(社会・理科・総合)

- ・勉強したところに関係あることがらを本やホームページなどで調べまとめる。  
(音楽)
- ・リコーダーの練習をする。
- ・テストでまちがった問題をもう一度ノートに写して解いてみる。
- ・市販のドリルや問題集 等

#### 1年生

- ① ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ② 拾い読みでなく、文章が読める。
- ③ 80字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ④ 助詞の使い分け(てにをは)を適切に使い分けて文章が書ける。
- ⑤ くり上がりのあるたし算・くり下がりのあるひき算が速く正確にできる。

#### 2年生

- ① 拾い読みでなく、文章がすらすら読める。
- ② 160字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。
- ③ 時間を追って、経験を話したり、書いたりできる。
- ④ 九九がすらすら言える。
- ⑤ 2位数までのたし算・ひき算の筆算ができる。
- ⑥ 決められた長さの直線を正しく引ける。

#### 3年生

- ① 句読点に気をつけて、はっきりした声で音読できる。
- ② 200字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ③ 人に分かるようにはっきりとした受け答えができる。
- ④ 3位数のたし算・ひき算の筆算ができる。
- ⑤ 除数と商が1位数のわり算が正しくできる。
- ⑥ かけ算の筆算ができる。

#### 4年生

- ① 句読点に気をつけて、はっきりした声で音読できる。
- ② 200字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ③ ローマ字を適切に読み書きできる。
- ④ 国語辞典、漢字辞典を正しく使うことができる。
- ⑤ 1位数、2位数でわり算の筆算ができる。

#### 5年生

- ① 内容がよく分かるように音読できる。
- ② 185字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ③ 体験や調べたことを簡潔にまとめ、分かりやすい文章で書ける。
- ④ 小数のかけ算やわり算ができる。
- ⑤ 円周や円の面積を求めることができる。

#### 6年生

- ① 内容がよく分かるように音読できる。
- ② 小学校で習得すべき配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。(6年生は181字)
- ③ 体験や調べたことを簡潔にまとめ、分かりやすい文章で書ける。
- ④ 異分母分数のたし算やひき算ができる。
- ⑤ 分数のかけ算やわり算ができる。

※1年生からの学習の積み重ねが6年生の姿になります。学校では、TT(複数教員による授業)や少人数授業など「個に応じた指導」の取り組みを通して基礎学力を高める努力をしていますが、家庭と協力することでさらにその力が高められます。家庭では、子どもが勉強をしたくなる環境をつくるのが大切です。「がんばっているね。」「よくできたね。」などの励ましの言葉が子どものやる気を支えます。